施設配置計画

■屋内外や既存施設が連携し賑わいを創出しやすい配置計画

・建物は開陽丸記念館と海水浴場に近い東側に配置し、連携を取りやすい計画とする。

・開陽丸記念館への来訪者に配慮し、開陽丸の視認性が良い建物形状とする。

外構計画概要

■外構整備方針

・町内外の多くの来訪者がだれでも安全に利用できるバリアフリーで見通しの良い駐車場を整備する。

・イベント時での利用やキッチンカーなどフレキシブルに利用可能なオープンスペースを確保する。

・施設屋内と屋外で一体的に利用可能なデッキテラスをオープンスペースに面して計画する。

安全な敷地内通路を確保

歩行者空間は歩車分離を原則とする。

海水浴場やかもめ島との動線空間として前面港湾道路沿いに歩行者スペースとして十分な幅員を確保する。

バリアフリーへの配慮

建物のエントランスに近い部分に車いす駐車場を整備する。

バス動線

大型駐車マスまでの動線を検討し、一般車両と分けることで安全性に配慮する。



マリーナへの動線を確保

駐車場内から既存のマリーナへの車両動線を確保する。

駐輪場

自動車動線と分離して駐輪場を設ける。

フレキシブルなオープンスペース

様々なイベントで利用できるオープンなスペースを計画

宿泊施設への影響に配慮

隣接する宿泊施設に配慮し、東側隣地境界に駐車マスを近接させない駐車場として整備する。